



木型製造から
バイオプラスチックまで
様々な製品を製造

18 株式会社和田木型製作所

☎42-4044 〒820-0202 嘉麻市山野1386-5

企画・設計・試作・金型・木型製作・量産成型と、一貫生産体制で様々なプラスチック製品を製作。また、関連会社の株式会社EPMと共に新製品の開発・販売も行っています。

時勢に合わせて新製品を開発するアイデア力のある会社

昭和45年に嘉麻市で創業した株式会社和田木型製作所。当時の筑豊地区は炭鉱で働く労働者が糖分を必要としていたことから、お菓子づくりが盛んでした。特に飯塚市では大手のお菓子製造会社があり、プラスチックのパッケージの需要が多く、様々な仕事を受注されていたそうです。

これまで、数多くの真空圧空成型用金型や梱包資材、プラスチック成形品を製造してこられました。10年ほど前から環境意識が高まっている状況に注目し、バイオプラスチックの開発をされています。「既存のバイオプラスチックの大半は植物由来成分(芋・とうもろこしなど)なので、気象条件や市場の動向により価格や供給面が不安定になります。そこで、供給が安定的な卵殻を活用し、プラスチックに混練することで、多種多様なバイオプラ

スチックを作りました。元々、廃棄される卵殻を使用することで再利用にも繋がり、環境志向の強い製品にもなりました。」と、和田専務は話してくださいました。

現在は、依頼元の企業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けたこともあり、受注状況が厳しくなった経営状況を打破するため、新しい取り組みを始められました。歯科からの依頼でフェイスガードを開発したことを皮切りに、改良を重ね稲築病院とタイアップして完成したフェイスガード。さらに、飛沫が多いと敬遠されているカラオケ店向けに、飛沫が飛び散らないようにカラオケマイクにつけるプラスチックのマイクガード。このように、これまでの経験を生かし、時勢に合わせて新しい製品を開発していることから、株式会社和田製作所は益々の発展が期待できることでしょう。



▲自動で成形・裁断を行う機械



▲機械で成形し切り分けていきます



▲金型から成形された製品一つずつに切り分け検品を行う▶



働く人々

勤務11年目 | うめもとあきら
梅本 明さん

和田製作所は、若い方が多い職場ですが、上司に対しても言いたいことが言える風通しの良い環境なので働きやすい職場です。私は、これまでの経験から業務全体を把握し、パートの方に指示を行うなど現場をらせていただいています。

